

(別紙様式)

【国実施分】学力調査結果の分析による具体的な取り組み 3年

日田市立東溪中学校

【3年国語】

課 題	具 体 的 な 対 策		
	授業改善	定着に向けた方法	家庭学習の取組
1 比喩を手掛かりにしながら文脈をたどり、内容を理解すること。 2 抽象的な概念を表す語句について理解すること。 3 効果的に伝わるように、内容や表現の仕方を工夫すること。	○表現技法の確認。 ○語句の意味調べとその語句を用いた短文づくり。 ○書いた文章を、推敲する活動。	○辞書を使う習慣づけ。 ○表現の効果を意識しながら、自分の考えや授業のポイントをまとめさせる。	○授業内容を復習する宿題。 ○学んだ語句や表現技法を用いた日記や感想文の宿題。
A：市正答率全国比 103.9 本校正答率全国比 (103.9) B：市正答率全国比 103.9 本校正答率全国比 (103.0)	来年度 A：本校目標正答率全国比 (104.0) B：本校目標正答率全国比 (103.5)		

【3年数学】

課 題	具 体 的 な 対 策		
	授業改善	定着に向けた方法	家庭学習の取組
1 2つの数量が一次関数になること の理解。 2 式の値についての理解。 3 資料の活用についての理解。	○課題やポイントを明確にし、ドリル学習を充実させる。 ○単元末に応用的、活用的問題を取り入れる。	○弱点分野に重点をおいたドリル学習に取り組む。 ○休日課題の継続とポイントをおさえた解説を行う。	○毎時間の授業の定着を図る宿題の提示。 ○休日課題の継続。
A：市正答率全国比 98.7 本校正答率全国比 (105.9) B：市正答率全国比 100.6 本校正答率全国比 (103.2)	来年度 A：本校目標正答率全国比 (106.0) B：本校目標正答率全国比 (103.5)		

【3年理科】

課 題	具 体 的 な 対 策		
	授業改善	定着に向けた方法	家庭学習の取組
1 地学分野「地層」についての理解 2 科学的な思考・表現に関する問題 3 記述式の問題	○1年次からの復習を行う。 ○思考力、表現力を育てる授業展開をしくむ。	○思考力や表現力を問う問題に取り組みさせる。	○休日課題の継続。 ○セミナー学習を中心とした1年次からの総復習を行う。
市正答率全国比 103.9 本校正答率全国比 (106.9)	来年度 本校目標正答率全国比 (107.0)		

【3年生活面】

課 題	具 体 的 な 対 策
1 規則正しい生活習慣ができていない生徒が多い。 (朝食をきちんととっていない。テレビを見る時間が長い。就寝の時間が遅い。) 2 家庭学習の時間が短い生徒が多い。 (平日は1～2時間、休日は2～3時間の家庭学習が多い。宿題はやっているが、予習や復習をあまりやっていない。)	○家庭でしっかり学習するための課題を準備する。休日は課題の量を増やす。取り組みが不十分な場合は、再提出をさせる。 ○目標を持たせて学習に取り組ませる。 ○規則正しい生活をするよう常に呼びかける。PTA等で保護者にも呼びかける。